



2022年
11月7日
No.A22-07

中東調査会は個人及び法人会員の賛助会費により運営されている非営利の公益財団法人です

中東調査会月間活動誌 (2022年10月)

1. 中東調査会主催の行事

(1) トップ・ミーティング

・10月25日(火)、リーナ・アンナーブ 駐日ヨルダン大使「ヨルダンの地政学的回復力 (Jordan: A Geo-Political Resilience)」(於：オークラ東京)



<要旨>

大使より、ヨルダン王室と日本の皇室との深いつながりや戦略的協力関係の発展について説明があった。また、国際情勢が不安定な中、ヨルダンは国内の安定と良好な投資環境を維持していることを強調し、中東和平プロセスについて、ヨルダンにとって平和は唯一の戦略的選択であると強調した。また、パレスチナ・イスラエル紛争の包括的で公正かつ永続的な平和は、二国家解決によってのみ達成されると説明された。

(2) 中東情勢オンライン講演会

・10月6日(木)、森野 泰成 駐クウェート大使「湾岸の友好国クウェートについて」(Zoom形式)



<要旨>

大使より、クウェートの政治制度や経済構造を概観した上で、クウェートの地政学的環境やインド太平洋地域との関係について説明がなされた。

・10月21日(金)、今井 宏平 アジア経済研究所研究員「トルコの西洋化の現在地」(Zoom形式)



<要旨>

講師より、トルコ共和国建国以来の西洋化の経緯を内外政の両面から整理した上で、西洋化以外のトルコの外交指針や、米中ロといった域外大国とのリスクヘッジを見据えた外交戦略について説明された。

2. 中東調査会の活動

(1) 中東トピックスの発行【会員限定】

・2022年10月号(2022年11月7日付)

1. サウジアラビア:「ロシア寄り」批判への反論
2. イスラエル:11月1日総選挙でリクード連合が過半数議席を獲得
3. トルコ:ガンツ・イスラエル国防相のトルコ訪問
4. リビア:トルコとの新たなエネルギー及び軍事協力
5. イラク:一年間の政治危機を経て新政府が発足
6. イラン:イランが元アフガン国軍兵士を募集しロシアに派遣と報道
7. アフガニスタン:カーブルの日本大使館が一部業務を再開

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/topics/)

(2) 中東分析レポートの発行【会員限定】

・No.09「イラン・ライシー政権のゆくえ — 保守強硬派の台頭とその帰結 —」(10月28日)

※内容はホームページをご参照ください

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/report/)

(3) イスラーム過激派モニターの発行【会員限定】

・No.13「「イスラーム国」イランがシーラーズでの攻撃を主張」(10月27日)

※内容はホームページをご参照ください。

(https://www.meij.or.jp/trend_analysis/monitor/)

(4) 中東かわら版の発行

No.93「クウェイト:第18期議会選挙の実施」
(研究員 高尾賢一郎、10月3日)

No.94「イエメン:停戦期限が終了、フーシー派が越境攻撃の可能性をほのめかす」(研究員 高尾賢一郎、10月4日)

No.95「イラン:ハーメネイー最高指導者が抗議デモについて初めて言及」(研究員 青木健太、10月4日)

No.96「リビア・トルコ:エネルギー協力に係る覚書」(研究員 高橋雅英・研究員 金子真夕、10月4日)

No.97「サウジアラビア:2029年のアジア冬季競技大会の開催が決定」(研究員 高尾賢一郎、10月5日)

No.98「エジプト・ギリシャ:トルコとリビアのエネルギー開発合意を批判」(研究員 金谷美紗、10月11日)

No.99「サウジアラビア:米国における対サウジ強硬論の動き」(研究員 高尾賢一郎、10月12日)

No.100「イスラエル・レバノン:海洋境界線について暫定合意」(上席研究員 金谷美紗、10月12日)

No.101「パレスチナ:パレスチナ和解合意文書「アルジェ宣言」の署名」(上席研究員 金谷美紗、10月14日)

No.102「イラク:新大統領の選出及び首相指名の余波」(研究員 高尾賢一郎、10月17日)

No.103「チュニジア:IMFとの新規融資で事務レベル合意」(研究員 高橋雅英、10月17日)

No.104「アルジェリア:イタリア車「フィアット」の生産工場の設置」(研究員 高橋雅英、10月17日)

No.105「クウェイト:第二次アフマド・ナウワーフ内閣の発足」(研究員 高尾賢一郎、10月18日)

No.106「イラン:ロシアへのドローン供与疑惑をめぐりEUが制裁を発動」(研究員 青木健太、10月21日)

No.107「パレスチナ:西岸地区で増加する暴力、

新たな武装組織の活動（上席研究員 金谷美紗、10月25日）

No.108「イラン：シーラーズのシャー・チェラグ廟での襲撃事件（研究員 青木健太、10月27日）

No.108「イラン：長期化する抗議デモ（研究員 青木健太、10月28日）
(<https://www.meij.or.jp/kawara/>)

(5) その他の活動

・東京外国語大学が開講する単位認定科目「国際社会をひもとく B/中東諸国の紛争と平和」へ当会研究員が出講した。

- ① 「社会運動論と「アラブの春」：抗議運動ダイナミクスの説明」（上席研究員 金谷美紗、10月19日）
- ② 「「アラブの春」後の中東諸国：様々な帰結を説明する」（上席研究員 金谷美紗、10月26日）
- ・横浜市立大学が開講するエクステンション講座「現代の中東・北アフリカ・南西アジアを理解しよう～混迷する現状と今後の展望～」へ当会研究員が出講した。
- ① 「アフガニスタンは今どうなっているのか」（研究員 青木健太、10月17日）
- ② 「「アラブの春」以降の東地中海諸国」（上席研究員 金谷美紗、10月20日）
- ③ 「アラビア半島（湾岸諸国）とイスラーム」（研究員 高尾賢一郎、10月24日）
- ④ 「リビア紛争の行方」（研究員 高橋雅英、10月27日）
- ⑤ 「トルコ共和国とエルドアン政権」（研究員 金子真夕、10月31日）
- ・10月4日（火）、青木研究員が明治大学文学部心理社会学科井上貴恵ゼミに出講した（演題：「アフガニスタンの近現代史」）。
- ・10月19日（水）、国連開発計画アフガニスタンのダルダリー常駐代表ら一行が来訪し、当

調査会の研究員らと意見交換を行った。



3. その他（外務省人事）

- ・10月25日（火） 発令
レバノン大使 馬越正之

4.11月の予定

- ・11月11日（金）、14:00～15:30、中東情勢オンライン講演会（高橋 克彦 駐マレーシア大使「東南アジアにおけるイスラーム（マレーシアでの経験を中心に）」）
- ・11月18日（金）、16:00～17:30、中東情勢オンライン講演会（水嶋 光一 駐イスラエル大使「演題未定」）
- ・11月30日（水）、8:30～10:00、於：オークラ東京プレステータワー7階「メイプル」、トップ・ミーティング（高原 明生 東京大学公共政策大学院院長、大学院法学政治学研究科教授（「中国共産党第20回全国代表大会の開催と今後の中国」））*法人会員限定

※やむを得ない事情により、日時や会場が変更になることもございますのでご了承ください。また、この他にもイベントを開催することもございます。詳細等と併せまして、配信メールやHPをご参照ください。

(<https://www.meij.or.jp/event/>)

*会員の皆様は、どなたでも会員限定ページをご覧になれます。

*ログインに必要なIDとパスワードは、御社の当会担当窓口にお問い合わせください。